

❖❖❖❖❖トピックス（上都賀地方のこの一年）❖❖❖❖❖

【いちご、にら栽培体験会の開催】

いちご、にらの特性を知ってもらうため、定植や収穫調整作業、先輩研修生との意見交換等を行う栽培体験会を開催しました。

令和3(2021)年度に4回実施した結果、県内外から延べ29名が参加しました。

引き続き、いちご、にら新規就農研修制度の認知度向上を図るため、研修生や栽培体験会参加者募集について、HPや広報誌等でのPRに取り組みます。



いちご定植体験



にら収穫調整体験

【いちご、にら新規就農研修制度による園芸産地を担う人材確保】

平成28(2016)年11月、鹿沼市がいちご市を宣言し、市が主体で平成29(2017)年度に新規就農者支援対策協議会を設立し、研修生受け入れを開始しました。

現在、市や農業公社、JA、農業振興事務所等で構成された、実務者会議を中心に具体的な推進を行っています。

令和3(2021)年度までに18名の研修生を受け入れ、既に10名が就農しています。

新規就農研修生募集中

新規就農研修生募集

新規就農研修生募集

にら研修生募集！
日光市でにら生産者になりませんか？

鹿沼市、日光市では、豊かな自然、肥沃な土地を活かして、イチゴ、にらなどが盛んに生産されています。市・JAなどの農業機関では産地活性化を目指し、新規就農者を募集しています。農業に関心興味のある方、この機会に農業にチャレンジしてみませんか。農業の良さがきっとみつかるとは必ず。既にこの地に根を下ろし農業で成功している例もあります。

詳しくは JAかみつが営農振興課【TEL:0289-65-1006】または市ホームページまで

【かみつが農業女子（仮称）の活動がスタート】

令和3(2021)年12月、上都賀地域の意欲ある女性農業者6名によるネットワーク活動「かみつが農業女子（仮称）」がスタートしました。

緩やかなつながりの中で、各々の課題（販路の開拓、雇用管理、6次産業化、生活面の悩み等）や目標をメンバーと共有し、その解決に向けた活動を開始しました。



交流会



ランチミーティング

【中山間地域で農地利用最適化推進委員が中心となり農地集積】

鹿沼市上永野地区で、農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり、農地バンクを活用した担い手への農地集積・集約化に向けた地域の話合いが実施されました。

この地区は、沢沿いに農地が存在する中山間地域で、農地利用最適化推進委員の積極的な調整活動により、3地区合計29.4haの農地が集積されました。

これをきっかけとして、今後は水田農業の将来についても地域の話合いを進める予定です。



農地集積に関する担い手の話合いの様子

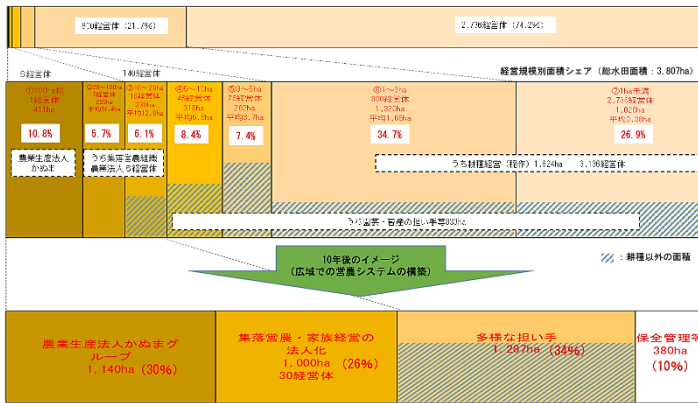
【広域営農システムの構築に向けた水田利用の将来像の検討】

各市の水田台帳集計データを活用し、管内（市全体及び重点推進地域※）の水田利用シェアを分析しました。

また、所内関係各部の担当者により、分析データや現場の生の声などを参考に水田利用の将来像についての検討を重ねました。

今後、これらの資料を基に関係機関と連携しながら、将来像の実現にむけて具体的な取組を進めていきます。

※：広域営農モデル地区及びその候補地区



水田利用状況と将来像（鹿沼市）



将来像等の検討の様子

【日光市の土地利用型農業の未来を考える意見交換会の開催】

令和3(2021)年12月、塩野室・大沢地区の土地利用型農家8戸と関係機関（市、市公社、JA、上都賀農業振興事務所）で、土地利用型農業が持続的に維持・発展していくための施策等について意見交換を行いました。

規模拡大時の課題である畦畔管理・水管理や、日光市の水田利用状況及び10年後の構想を基に今後の農業経営のあり方について話し合い、現状の課題と今後取り組むべき方向性について共通認識が図られました。



意見交換会の様子

【土地利用型農業におけるスマート農業技術の導入】

上都賀地域では、ドローン、除草剤散布用ボート、GNSS（衛星測位システム）搭載田植機等のスマート農業技術の導入が進んでいます。

特に、ドローンは近年急速に導入が進んでおり（地域内で46経営体が導入）、安全運航を図るため、JAかみつがサービス（株）ドローン利用者協議会が主催する「ドローン飛行訓練会」が令和3（2021）年5月に開催されました。



散布装置の取扱説明



飛行訓練の様子

【さといも新規栽培者確保のため、湛水栽培の見学会を実施】

上都賀地域は、さといも栽培が盛んな地域ですが、高齢化などの理由で、栽培面積は減少傾向となっています。

産地の活性化を図ることを目的にさといも新規栽培者を募集し、新たな栽培方法である「湛水栽培」の見学会を、8月に鹿沼市と日光市で開催しました。

湛水栽培により、除草作業や病害虫防除作業が軽減され、増収の効果があることを説明、実際に生育状況を確認していただきました。



見学会でさといもの生育状況を確認し、管理の省力化について説明を受ける生産者